

統合報告3.0 PartII

～対話だけじゃない!

良質な経営に不可欠なツールとなる統合報告～

2021年12月2日(木)、株式会社エッジ・インターナショナル主催 IRセミナー2021「統合報告3.0 PartII ～対話だけじゃない!良質な経営に不可欠なツールとなる統合報告～」をオンラインにて開催します。

近年、サステナビリティ情報開示の重要性の高まりから、IFRS財団によるISSB(国際サステナビリティ基準審議会)創設、日本でもコーポレートガバナンス・コードの改訂にサステナビリティ課題への対応が盛り込まれ、開示規制が国内外で急速に強化されています。IIRCが設立された2010年頃を「統合報告1.0」、GPIFがPRIに署名し、日本で統合報告を用いた対話が本格化した2015年頃を「統合報告2.0」と捉えると、現在は、統合報告の思考から紡ぎ出した企業価値向上ストーリーを、自社の良質な経営そのものに活かす「統合報告3.0」と位置付けることができます。

本セミナーにおいては、本年3月に開催したウェビナーに引き続き、最近の動向を整理した上で、投資家の視点と事業家の視点の両方を持ち合わせながら、良質な経営に生かし切る統合報告のあり方を企業と投資家の方々とともに改めて考察します。パネルディスカッションでは、参加者の皆さまのご質問にもお答えするお時間を設けます。

日 時 2021年12月2日(木) 14:30～16:30

視 聴 方 法 オンライン(Zoom)

参 加 費 無料

募 集 人 数 300人

対 象 上場企業のIR、広報、CSR、経営企画、経理・財務部門の担当役員・担当者

※統合報告書の発行を検討中の企業の方も是非ご参加ください。

※申し訳ございませんが、同業他社、コンサルティング会社、個人の方々は、お断りしています。

お 申 込 み



<https://forms.office.com/r/VckDsyGP36>

パネルディスカッションでは登壇者から質問に対して回答致します。

是非お申込みの際に質問をお寄せ下さい。

期限: 12月1日(水) 12:00

お問い合わせ先 株式会社エッジ・インターナショナル セミナー事務局

MAIL: seminar_info@edge-intl.co.jp

開会挨拶 (5分)	14: 30～14: 35	株式会社エッジ・インターナショナル 代表取締役社長 麻生 佳孝
講演 (25分)	14: 35～15: 00	<p>「統合報告をとりまく最新動向」</p> 株式会社エッジ・インターナショナル 代表取締役社長 麻生 佳孝 <p>資本市場におけるESG情報開示ニーズの高まりに加え、国内外で開示基準の整備が急速に進んでいます。真に求められる統合報告書の在り方を考察していくにあたり、その考察がより明確なものとなるよう、開示要請にまつわるさまざまな動向を時系列で端的に解説します。</p>
パネル ディスカッション (90分)	15: 00～16: 30	<p>「企業価値向上に資する統合報告書とは」</p> 株式会社アバント 代表取締役社長 グループCEO 森川 徹治氏 三井住友トラスト・ホールディングス株式会社 サステナビリティ推進部長 稲葉 章代氏 東京海上アセットマネジメント株式会社 理事 責任投資部長 兼 オルタナティブ責任投資部長 菊池 勝也氏 <p>統合報告書は、投資家やステークホルダーとの対話のプラットフォームとして大きな期待を担っています。しかし近年では、さまざまな開示要請への対応に追われ、各社の独自性が薄まり、統合報告書の画一化傾向が見られます。そうした中、真に企業価値向上につながる統合報告書とはどうあるべきか、企業と投資家双方の視点からさぐります。</p>

※プログラムは予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

登壇者プロフィール

森川 徹治氏

株式会社アバント
代表取締役社長 グループCEO

1990年ブライズウォーターハウスコンサルタント(現IBM ビジネスコンサルティングサービス)入社。連結会計・グループ経営に関するコンサルティング実務を経て、1997年に株式会社ディーバ(現アバント)を創業、代表取締役社長に就任。現在はグループCEOとしてグループ全体を牽引。2018年の東証一部への指定以降は自らIRの最前線に立ち、投資家との創造的対話を繰り返している。

稲葉 章代氏

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社
サステナビリティ推進部長

1990年日興証券入社、IPO営業に従事後、日興リサーチセンターおよび住友信託銀行(現三井住友信託銀行)で、約20年間アナリスト(エレクトロニクス担当)。2003年のSRIファンド年金向け第1号設定をはじめとして、ESG業務にも深く関わる。2020年4月より現職。サステナビリティ戦略推進、ESG情報開示、サステナビリティビジネス開発を行う部署の責任者。経産省・対話促進研究会委員、なでしこ銘柄選定基準検討委員を歴任。

菊池 勝也氏

東京海上アセットマネジメント株式会社 理事
責任投資部長 兼 オルタナティブ責任投資部長

1989年大和証券投資信託委託入社。2013年まで約20年株式運用部門に所属しファンドマネージャーを務める。主として成長株ファンドやSRIファンドを担当。2013年に調査部へ異動しアナリストとして金融・医薬品セクターなどをカバーする。調査部長を経てスチュワードシップ活動を担当。2019年1月東京海上アセットマネジメントへ入社し、ESG調査、エンゲージメント、議決権行使などを担当。

麻生 佳孝

株式会社エッジ・インターナショナル
代表取締役社長

都市銀行を経て、2006年に株式会社エッジ・インターナショナルに入社。総合商社、自動車、通信、エネルギー、製鉄、非鉄金属、インフラ、総合電機、精密機器、空運、陸運、海運、不動産、食品、酒類・飲料、小売りといったさまざまなセクターのリーディングカンパニーに対し、アニュアルレポートや統合報告書の制作支援のほか、情報開示に関連する各種コンサルティングサービスの提供に従事。2021年より現職。